

## 当院にて消化器癌手術治療を受けられた患者さんへ

大腸・肛門外科では癌、炎症性腸疾患を初めとする幅広い分野において、臨床的・基礎的研究を行っています。

【研究課題】 消化器癌腹膜播種症例における腹水・腹腔内洗浄液の総合的解析  
3140-(4)

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 東京大学医学部附属病院  
研究責任者 大腸肛門外科 助教 室野 浩司  
担当業務 データの収集・解析

### 【研究期間】

平成 24 年 10 月 17 日より平成 32 年 10 月 16 日

### 【対象となる方】

平成 24 年 10 月 17 日より平成 32 年 10 月 16 日の間に当院大腸肛門外科にて加療を行う消化器癌患者さんで成人の方。

### 【研究の意義】

消化器癌が腹膜播種を起こした際に生じる癌性腹水や、消化器癌の手術中あるいは腹腔内化学療法時に得られる腹腔内洗浄液については、実際の臨床においては細胞診によって病理学的検討がなされますが、そのほかの解析については少数の研究が報告されているのみです。

そこで、本研究では当科で治療を受けた胃癌・大腸癌の癌性腹水および腹腔内洗浄液を用い、検体中の遊離癌細胞に対して、表面マーカーの発現分布解析等を行い、様々な臨床病理学的因子と比較検討することで、腹膜播種の病態を解明し、腹膜播種に対する新たな診断法・治療法に結びつく知見を得られると考えています。

### 【研究の目的】

当科で治療を受けた胃癌・大腸癌の癌性腹水および腹腔内洗浄液を用い、検体中の遊離癌細胞に対して、表面マーカーの発現分布解析、ガス分圧測定、免疫組織学的解析、各種サイトカイン測定、遺伝子マーカー測定を行い、様々な臨床病理学的因子と比較検討することにより、腹膜播種の病態を解明し、腹膜播種に対する新たな診断法・治療法に結びつく知見を得ることを目的としています。

### 【研究の方法】

この研究は、東京大学医学部倫理委員会の承認を受け、東京大学医学部附属病院長の

許可を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や病理検査などのデータを収集し、病理検査として採取した腹水検体の一部を用いて行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

#### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。

あなたの手術標本や情報・検査結果等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において研究責任者である室野浩司が個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

★この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2020年10月16日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会等で発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がございましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

この研究に関する費用は、科研費を使用します。  
尚、あなたへの謝金はございません。

2017年5月30日

#### 【問い合わせ先】

東京大学医学部附属病院大腸肛門外科 助教 室野 浩司  
住所：東京都文京区本郷7-3-1 東大附属病院 腫瘍・血管外科医局  
電話：03-3815-5411（内線 33246） FAX：03-3811-6822